

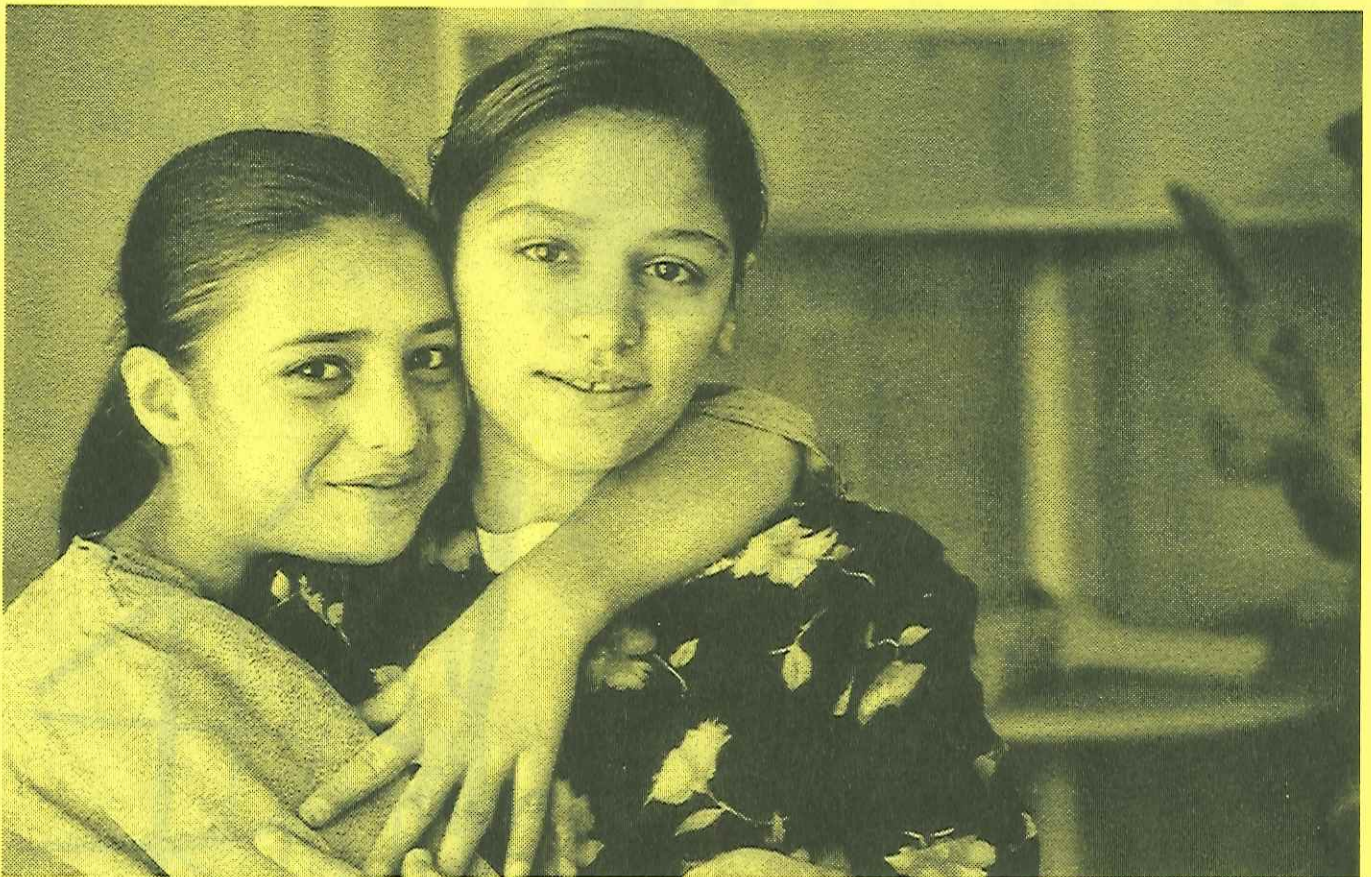
アフガン女性と **写真展**



子どもの未来のために

戦乱が続いたアフガニスタンで人々はどのような暮らしを送っているのでしょうか。ソ連の軍事介入、タリバンの政権奪取、NATO 軍の介入、9.11 同時多発テロ以後のアメリカ軍の介入—混乱が人々を苦しめてきました。

戦場になったアフガニスタンで、女性たちはさらに苛酷な状況を生きています。写真家川崎けい子さんは取材を長く続け、自立を模索する女性たちの支援を続けてきました。アフガニスタンの今を知る貴重な写真展です。



アフガニスタンの女性団体 RAWA の運営する孤児院で暮らす少女たち。

ビジャ(右)は、内戦の時代に両親を亡くした。将来の夢はジャーナリストになることだという。

川崎けい子 撮影 オフィススリーウェイ 資料提供

2012. 8. 10(金)~8. 21(火)

9時~21時 エセナおおた 1階展示コーナー

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

私は、自分の進むべき道を見つけた。決して後戻りはしない。

(アフガニスタンの女性団体 RAWA の創始者ミーナの言葉)

自由があり、権利があること、それは空気のように当たり前のことと、日本に住む私たちは考えてしまいがちです。しかし今なお世界の多くの地域で、女性は男性と平等の権利を持っていません。権利を獲得するために女性たちの闘いが続いています。



通学途中の少女たち

少女たちの柔らかな、嬉しそうな表情を見てほしい。学校に行けることは、彼女たちにとって、とても楽しいことなのだ。厳しい戒律に縛られ、女性に権利が与えられない社会の中で、女性の教育は未来への希望となる。

PROFILE 川崎けい子さん

環境、国際問題、女性問題などの分野を中心に、PR ビデオ、教養・教育ビデオ、テレビ番組の脚本・演出を担当する。1999年からアフガン難民やアフガニスタン国内で暮らす人びとを取材し、写真ルポを雑誌で発表。全国各地で写真展およびアフガニスタン問題や女性問題についての講演をして活躍中である。

主催・問合せ先

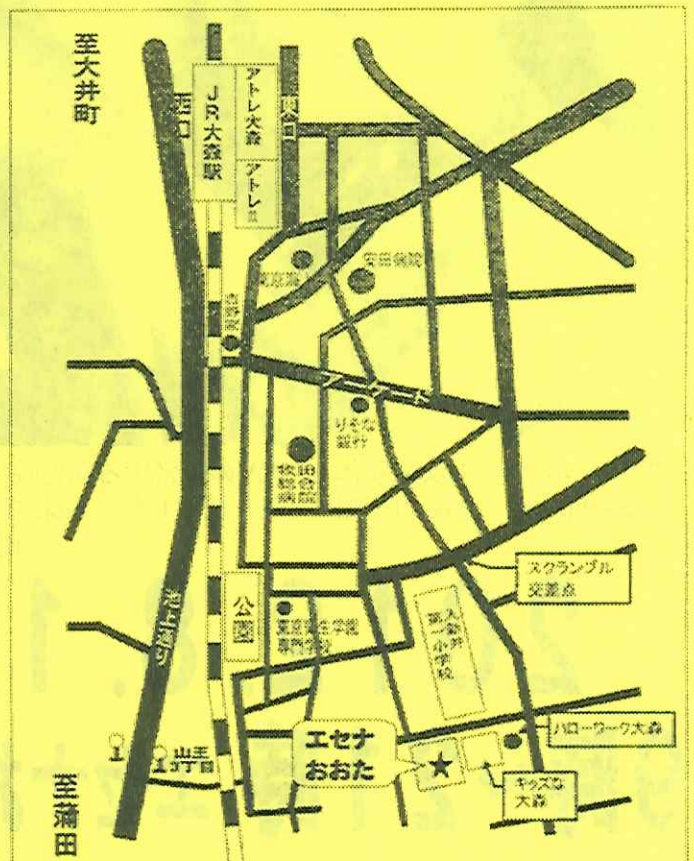
〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

電話 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

E-Mail escena@escenaota.jp



JR京浜東北線 大森駅より徒歩5分
駐車場はありません。